脳卒中の治療・啓発で未来守る

永冨脳神経外科病院 病院長
湧川 佳幸氏

1978年に永冨裕文理事長が開院してから、今年で47年になる。現在は脳卒中治療を担当する7人を含め、計15人の医師が一体となってチーム医療を展開（2024年4月現在）。脳神経外科の救急病院として、地域医療を支え続けている。

開頭手術をせずに脳腫瘍など患部に放射線を照射するガンマナイフ（定位放射線治療装置）を、22年に更新した。近隣の医療機関とも連携し、治療適応のある患者への提供の機会が増えた。

他にも21年にMRI（磁気共鳴画像法）、23年にCT（コンピューター断層撮影）の装置を相次いで更新。進歩を続ける脳血管内治療に注力するなど、一刻を争う脳卒中患者の治療を担う病院としての矜持（きょうじ）を持つ。

24年1月、脳神経外科の救急担当に新たな医師を迎え、院内の救命救急スキルの向上を図った。23年11月からは眼科の外来患者の受け入れを開始。脳神経に関わる眼科疾患の診療にも取り組んでいる。

脳卒中の発症・再発予防、啓発にも努めている。「脳卒中・循環器病対策基本法」の制定に伴い、大分県でも対策の推進計画が策定された。「目標を効率的に達成するには、高血圧の予防と治療の徹底が一番の近道だと考えている。血圧の重要性を再度、見直してほしい」と訴える。

脳ドックによる検査を推進。「検査当日に、分かりやすい言葉で説明する」をモットーに、患者の不安に寄り添う体制を整えている。

24年10月29日の世界脳卒中デーには、夜のライトアップイベントに参加した。病院の建物を、世界脳卒中機構のシンボルカラーであるインディゴブルーの光で照らした。

脳神経領域の後進の育成も目標に掲げる。快適な職場環境をかなえるため、増築・改築にも着手する予定だ。

「〝脳〟を救い、〝未来〟を守る」の言葉を胸に、これからも豊富な経験を生かして地域社会に尽くす。

病院DATA

●診療科目
脳神経外科、脳神経内科、脳血管内科、神経眼科
放射線科、リハビリテーション科

●診療時間
平日／9:00～12:00、14:00～17:00
土曜／9:00～12:00

●休診日
日曜、祝日
※急患は24時間365日対応

地域に寄り添う病院を目指す

医療法人 健裕会 永冨脳神経外科病院
大分市西大道2-1-20
TEL 097-545-1717
https://nagatomi-hp.com